【ご案内】 FTSE世界国債インデックス構成国の見直しについて

■ FTSE世界国債インデックスの構成国の見直しについて

FTSE Russell社では、「市場アクセシビリティ・レベル」、「市場規模」、「信用格付け」の3つのインデックス基準に基づき、定期的にインデックス構成国の見直しを行っています。

同社は2024年9月の見直しにおいて、インデックス採用基準の全てを満たしたと判断^{*}し、韓国国債を2025年11月よりFTSE世界国債インデックスへ追加することを発表しました。

*インデックス採用基準である「市場アクセシビリティ・レベル」が 1 から、インデックス採用基準である 2 へ引き上げられました。

【組入れ時期】

2025年11月インデックス(2025年10月末)

【組入れ比率】

2025年10月末より、1年間に亘って四半期ごとに段階的に組み入れられる予定です。

最終的な組み入れ比率は、FTSE世界国債インデックスは2.22%程度、FTSE世界国債(除く日本)インデックスは2.47%程度となります。
(2024年9月末時点に基づくFTSE Russell社の概算)

<ご参考>

●インデックス採用基準

以下の3つの採用条件を満たすこと

①市場アクセシビリティ・レベルが最上位の2であること

②市場の額面総額合計が500億米ドル、400億ユーロ、5兆円を上回ること

③発行体の自国通貨建て長期債務の格付けが、S&P社とムーディーズ社の双方でA-/A3以上であること(但し③については、9月の年次レビュー時と変更適用時の両時点で条件を満たす必要あり)

●市場アクセシビリティ・レベル

市場アクセシビリティ・レベルは、「市場、マクロ経済、規制環境」「外国為替市場の構造」「債券市場の構造」「グローバル決済およびカストディ」の4つの側面で判定し、「2、1、0」の3段階で評価。